授 業 科 目 名	現代教育と教育理念(The Idea	l and The Real of	Education)
科 目 番 号	9200111	授 業 形態	講義
単 位 数	1 単位	標準履修年次	1 年次
実 施 学 期	春C	曜時限	木曜・1、2 時限
対象学群・学類	人文・応理・エシス・比文・日日・社工対象		
担当教員(連絡先)	平井悠介		
47.770	火 4 (授業に関することであれば適	宜対応。授業時に配	布するレジュメに記載す
オフィスアワー	るメールアドレス宛に連絡し、アポイ	ントを取って下さい。)	
授業の到達目標	(1)教育の諸概念と教育の理念・目	的についての基礎的	な知識を習得する。
	(2)人間形成をめぐる教育の各分里	予での議論 が相互にい	いかに関 連しているかを
	説明できる。		
	(3)人間の発達の助成としての教育	の可能性と限界につ	いて現代社会との関わ
	りという観点をふまえて論じられる	0	
授 業 の 概 要	子どもが人として生まれ、人間として形成	されていく過程で、大人・	教育者はどのようなはたら
	きかけを行うべきか。また、社会は社会的	内存在としての人間の形	成にどのように関わるべき
	か。こうした課題を、人間の発達、教育の	目的、内容、方法、制度	的・組織的原理等に関わる
	教育の基礎理論・基本的概念をふまえな	がら、多面的に考察する	0
授 業 計 画	第1回 教育という問い、その意義につし	ヽて:教育学を学ぶ意義に	ついての理解
	【準備学習】教科書の第1章と第14章	ぎを読んでおく。	
	第2回 教育の概念:教育とは何か、教育	育の場(家庭・学校・社会)	こよる役割の違いの理解
	【準備学習】教科書第 2 章を読み、「教	教育」という言葉に対する	自らのイメージを 100 字程
	度でまとめておく。		
	第3回 教育の理念と目的(1):発達の助	成/市民の育成としてのこ	こつの教育目的の理解
	【準備学習】教科書第 4 章を読んだ上	で、なぜ大人は子どもを	教育するのか、教育の目的
	について自らの考えを 200 字程度で		
	第4回 教育の理念と目的(2):教育のあ		
	【準備学習】教科書第3章と第11章を 		
	知識を調べておく。(http://www.mex	S 5	
	第5回 人間形成論としての教育人間学		続性/非連続性の理解
	【準備学習】教科書第5章を読んでおく		5 2 - ↑ ↑ 〒 伊
	第 6 回 教育思想に見る人間形成(1):ル 		
	【準備学習】教科書第7章を読み、ル 第7回 教育思想に見る人間形成(2):フ		
	第 7 回 教育心心に兄る人間形成(2): ブ 【準備学習】教科書第 7 章と第 8 章を		
	【宇順子自】教科音第 / 草と第 6 草で いての基礎知識を調べておく。	一説のたエピ、プレーベル	(, ()D) ()D (,) ±—1 (:)
	いての基礎知識を調べておい。 第8回 現代教育を問い直す教育思想::	近代教育批判とその垂り	越えの思想史的老窓
	第 6 回 現代教育を同い直り教育心态: 		たっとくこの心 矢川 77 ボ
	第9回 公教育としての学校教育:教育の	·-	いての理解
	第 5 回 公教育20 (6) 子校教育: 教育 5 		~ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
	【十端子目】 33 12 2 2 10 10 11 1	·-	
	【準備学習】第 11 章と第 15 章を読んで		
 成 績 評 価 方 法			
从恨叶Ш刀	7977日の東ス(マック、中ロジス時次反のか)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	J-G-(TV/0/

テ	+	ス	۲	吉田武男監修、滝沢和彦編著『MINERVA 初めて学ぶ教職 1 教育学原論』ミネ
				ルヴァ書房、2018年。授業時に資料を含むレジュメを配布する。
参	考	文	献	授業時に適宜紹介する。
授第	業 外 [こおに	ける	事前学習、事後学習を含め、150分の授業外における学修を要する。
学	習	方	法	毎時間、授業計画に示された準備学習(指定教科書の指定された章を読む等)
				を行った上で、授業に臨むこと。
受講	学生	こ望む	こと	・教科書の内容を前提としながら、発展的な内容を授業で講義します。それゆ
				え、シラバスで次回の内容を確認し準備学習を行った上で、授業に臨むこと。
				・自らが教育を受けてきた経験を振り返り、時に他者と共有しながら、教育のあ
				るべき姿を考えていきます。目的意識と積極性を持って授業に臨んでいただきた
				l',
備			考	旧課程の教育基礎学Ⅱに対応。
				対象学群・学類以外の履修は原則認めない。また、『履修要覧』(I学修一5履
				修申請)で履修申請変更について書かれているとおり、「やむを得ない理由があ
				って、期間内に申請不可能な場合」を除き、追加履修・削除等は基本的には認
				めないため、履修登録は慎重に行うこと。

		美施力法:オンフィ	(ン(オンテマンド型)
授 業 科 目 名	現代教育と教育理念(The Ideal	and The Real of E	ducation)
科目番号	9200121	授 業 形態	講義
単 位 数	1 単位	標準履修年次	1 年次
実 施 学 期	秋C	曜時限	水曜・1、2 時限
対象学群・学類	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・	看護・医療・芸術対象	
担当教員(連絡先)	平井 悠介		
	火4(授業に関することであれば適宜	対応。授業時に配布	するレジュメに記載する
オフィスアワー	メールアドレス宛 に連 絡し、アポイント	を取って下さい。)	
授業の到達目標	(1)教育の諸概念と教育の理念・目	的についての基礎的な	は知識を習得する。
	(2) 人間形成をめぐる教育の各分野・	での議論が相互にいた	かに関連しているかを説
	明できる。		
	(3)人間の発達の助成としての教育の	の可能性と限界につい	いて現代社会との関わり
	という観点をふまえて論じられる。		
授 業 の 概 要	子どもが人として生まれ、人間として形成さ	れていく過程で、大人・教	教育者はどのようなはたらき
	かけを行うべきか。また、社会は社会的存む	在としての人間の形成に	どのように関わるべきか。こ
	うした課題を、人間の発達、教育の目的、I	内容、方法、制度的•組織	戦的原理等に関わる教育の
	基礎理論・基本的概念をふまえながら、多成	面的に考察する。	
授 業 計 画	・授業はオンライン授業(オンデマンド型)で実施する。授業動画コンテンツは manaba の授業コ		
	ンテンツ内で閲覧用 URL を示す。		
	・授業時にはmanabaの授業コンテンツを通	じて資料を含むレジュメを	配布するが、教科書も適
	宜使用する。		
	・manabaに付与されている機能responを使用して、毎回課題の提出を求める。課題の提出は、		
	授業への出席確認も兼ねる。		
	・教科書の内容を前提としながら、発展的な内容を授業で講義する。それゆえ、シラバスで次回		
	│の内容を確認し準備学習を行った上で、授 │		
	・授業時にはmanabaの授業コンテンツを通 	じて資料を含むレジュメを	配布するが、教科書も使
	用する。		
	 - 第1回 教育という問い、その意義につい ^っ	で·数育学を学ぶ音義につ	こいての理解
	【準備学習】教科書の第1章と第14章		- C - C - C - C - C - C - C - C - C - C
	第2回 教育の概念:教育とは何か、教育		よる役割の違いの理解
	【準備学習】教科書第2章を読み、「教		
	でまとめておく。		
	 第 3 回 教育の理念と目的(1):発達の助成	t/市民の育成としてのニ [・]	つの教育目的の理解
	【準備学習】教科書第 4 章を読んだ上で		
	ついて自らの考えを 200 字程度でまと	- めておく。	
	 第 4 回 教育の理念と目的(2):教育のある		た課題についての考察
	 【準備学習】教科書第 3 章と第 11 章を記	売んでおく。その上で、学	習指導要領について基礎知
	識を調べておく。(http://www.mext.go	.jp/a_menu/shotou/new-	cs/1383986.htm 参照)
	 第 5 回 人間形成論としての教育人間学::		
	「海供労羽】数利事等に発力される		

【準備学習】教科書第5章を読んでおく。

	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
	第6回 教育思想に見る人間形成(1): ルソー、ペスタロッチの問題意識の理解
	【準備学習】教科書第 7 章を読み、ルソーとペスタロッチについて基礎知識を調べておく。
	第7回 教育思想に見る人間形成(2):フレーベル、ヘルバルト、デューイの問題意識の理解
	【準備学習】教科書第 7 章と第 8 章を読んだ上で、フレーベル、ヘルバルト、デューイについ
	ての基礎知識を調べておく。
	第8回 現代教育を問い直す教育思想:近代教育批判とその乗り越えの思想史的考察
	【準備学習】教科書第 10 章を読んでおく。
	第9回 公教育としての学校教育:教育の制度・組織の意義についての理解
	【準備学習】教科書第 12 章を読んでおく。
	第 10 回 現代社会と教育のゆくえ:現代教育の課題の考察
成績評価方法	・期末試験(60%)、毎回の受講態度およびリアクションペーパーの内容(40%)をふまえ総合的に
	評価する。
	・授業時の学習成果、到達目標に掲げた各項目に関わる期末試験(レポート形式)の成績によ
	り、到達目標を十分満たしたと判断された場合、合格(A+, A, B, C) のいずれかの評価となる。
テキスト	吉田武男監修、滝沢和彦編著,『MINERVA 初めて学ぶ教職 1 教育学原論』ミネ
	ルヴァ書房、2018年。授業時に資料を含むレジュメを配布する。
参考文献	授業時に適宜紹介する。
授業外における	事前学習、事後学習を含め、150分の授業外における学修を要する。
学 習 方 法	毎時間、授業計画に示された準備学習(指定教科書の指定された章を読む等)を
	行った上で、授業に臨むこと。
受講学生に望むこと	・教科書の内容を前提としながら、発展的な内容を授業で講義します。それゆえ、
	シラバスで次回の内容を確認し準備学習を行った上で、授業に臨むこと。
	・自らが教育を受けてきた経験を振り返り、時に他者と共有しながら、教育のある
	べき姿を考えていきます。目的意識と積極性を持って授業に臨んでいただきたい。
備考	旧課程の教育基礎学Ⅱに対応。
	対象学群・学類以外の履修は原則認めない。また、『履修要覧』(I 学修一5 履
	修申請)で履修申請変更について書かれているとおり、「やむを得ない理由があっ
	て、期間内に申請不可能な場合」を除き、追加履修・削除等は基本的には認め
	ないため、履修登録は慎重に行うこと。

授 業 科 目 名	現代教育と教育理念(The Ideal and The Real of Education)		
科 目 番 号	9200131 授業形態講義		
単 位 数	1 単位 標準履修年次 1 年次		
実 施 学 期	春 C 曜 時 限 月曜・3、4 時限		
対象学群・学類	教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報対象		
担当教員(連絡先)	平井 悠介		
	火 4 (授業に関することであれば適宜対応。授業時に配布するレジュメに記載するメ		
オフィスアワー	ールアドレス宛に連絡し、アポイントを取って下さい。)		
授業の到達目標	(1)教育の諸概念と教育の理念・目的についての基礎的な知識を習得する。		
	(2)人間形成をめぐる教育の各分野での議論が相互にいかに関連しているかを説		
	明できる。		
	(3)人間の発達の助成としての教育の可能性と限界について現代社会との関わりと		
	いう観点をふまえて論じられる。		
授 業 の 概 要	子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきか		
	けを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうし		
	た課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理		
	論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。		
授 業 計 画	第1回 教育という問い、その意義について:教育学を学ぶ意義についての理解		
	【準備学習】教科書の第 1 章と第 14 章を読んでおく。		
	第2回 教育の概念:教育とは何か、教育の場(家庭・学校・社会)による役割の違いの理解		
	【準備学習】教科書第 2 章を読み、「教育」という言葉に対する自らのイメージを 100 字程度で		
	まとめておく。		
	第3回 教育の理念と目的(1):発達の助成/市民の育成としての二つの教育目的の理解		
	【準備学習】教科書第 4 章を読んだ上で、なぜ大人は子どもを教育するのか、教育の目的につ		
	いて自らの考えを 200 字程度でまとめておく。		
	第4回 教育の理念と目的(2):教育のあるべき姿とその実現に向けた課題についての考察		
	【準備学習】教科書第3章と第11章を読んでおく。その上で、学習指導要領について基礎知識		
	を調べておく。(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1383986.htm 参照)		
	第 5 回 人間形成論としての教育人間学:教育的関係、発達の連続性/非連続性の理解		
	【準備学習】教科書第5章を読んでおく。		
	第6回 教育思想に見る人間形成(1): ルソー、ペスタロッチの問題意識の理解		
	【準備学習】教科書第 7 章を読み、ルソーとペスタロッチについて基礎知識を調べておく。		
	第 7 回 教育思想に見る人間形成(2):フレーベル、ヘルバルト、デューイの問題意識の理解		
	【準備学習】教科書第 7 章と第 8 章を読んだ上で、フレーベル、ヘルバルト、デューイについて		
	の基礎知識を調べておく。		
	第8回 現代教育を問い直す教育思想:近代教育批判とその乗り越えの思想史的考察		
	【準備学習】教科書第 10 章を読んでおく。		
	第9回 公教育としての学校教育:教育の制度・組織の意義についての理解		
	【準備学習】教科書第 12 章を読んでおく。 		
	第 10 回 現代社会と教育のゆくえ:現代教育の課題の考察		
	【準備学習】第 11 章と第 15 章を読んでおく。		
成績評価方法	期末試験(60%)、毎回の受講態度およびリアクションペーパーの内容(40%)		

テ	+	ス	۲	吉田武男監修、滝沢和彦編著,『MINERVA 初めて学ぶ教職 1 教育学原論』ミネル
				ヴァ書 房、2018 年。授業時に資料を含むレジュメを配布する。
参	考	文	献	授業時に適宜紹介する。
授	業外に	こおり	ナる	事前学習、事後学習を含め、150分の授業外における学修を要する。
学	習	方	法	毎時間、授業計画に示された準備学習(指定教科書の指定された章を読む等)を行
				った上で、授業に臨むこと。
受請	サ生!	こ望む	こと	・教科書の内容を前提としながら、発展的な内容を授業で講義します。それゆえ、シ
				ラバスで次回の内容を確認し準備学習を行った上で、授業に臨むこと。
				・自らが教育を受けてきた経験を振り返り、時に他者と共有しながら、教育のあるべ
				き姿を考えていきます。目的意識と積極性を持って授業に臨んでいただきたい。
備			考	旧課程の教育基礎学Ⅱに対応。対象学群・学類以外の履修は原則認めない。
				対象学群・学類以外の履修は原則認めない。また、『履修要覧』(I学修一5履修
				申請)で履修申請変更について書かれているとおり、「やむを得ない理由があって、
				期間内に申請不可能な場合」を除き、追加履修・削除等は基本的には認めないた
				め、履修登録は慎重に行うこと。

		美施万法:オンフィ	(ン(オンテマンド型)
授 業 科 目 名	現代教育と教育理念(The Ideal	and The Real of E	ducation)
科目番号	9200141	授 業 形態	講義
単 位 数	1 単位	標準履修年次	1 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜時限	集中
対象学群・学類	体育 1~5 クラス対象		
担当教員(連絡先)	平井 悠介		
	火4(授業に関することであれば適宜	対応。授業時に配布	するレジュメに記載する
オフィスアワー	メールアドレス宛 に連 絡し、アポイント	を取って下さい。)	
授業の到達目標	(1)教育の諸概念と教育の理念・目	的についての基礎的な	は知識を習得する。
	(2)人間形成をめぐる教育の各分野	での議論が相互にいっ	かに関連しているかを説
	明できる。		
	(3)人間の発達の助成としての教育の	の可能性と限界につい	へて現代社会との関わり
	という観点をふまえて論じられる。		
授 業 の 概 要	子どもが人として生まれ、人間として形成さ	れていく過程で、大人・教	教育者はどのようなはたらき
	かけを行うべきか。また、社会は社会的存む	在としての人間の形成に	どのように関わるべきか。こ
	うした課題を、人間の発達、教育の目的、	内容、方法、制度的・組織	敞的原理等に関わる教育の
	基礎理論・基本的概念をふまえながら、多	面的に考察する。	
授 業 計 画	・授業はオンライン授業(オンデマンド型)で実施する。授業動画コンテンツは manaba の授業コ		
	ンテンツ内で閲覧用 URL を示す。		
	・授業時にはmanabaの授業コンテンツを通	じて資料を含むレジュメを	配布するが、教科書も適
	宜使用する。		
	・manabaに付与されている機能responを使用して、毎回課題の提出を求める。課題の提出は、		
	授業への出席確認も兼ねる。		
	・教科書の内容を前提としながら、発展的な内容を授業で講義する。それゆえ、シラバスで次回		
	の内容を確認し準備学習を行った上で、授	業に臨むこと。	
	・授業時にはmanabaの授業コンテンツを通	じて資料を含むレジュメを	配布するが、教科書も使
	用する。		
	 - 第1回 教育という問い、その意義につい ⁻	て、数本尚も尚ご辛美にん	コンズの理例
	第 日 教育という同じ、 その意義につい 【準備学習】教科書の第 1 章と第 14 章:		50、600至所
	第2回 教育の概念:教育とは何か、教育		よる役割の違いの理解
	【準備学習】教科書第2章を読み、「教		
	でまとめておく。	H]CV)	ラの 100 14主文
	 第3回 教育の理念と目的(1):発達の助成	************************************	つの数育日的の理解
	第 6 日 教育の程志と日野の元先達の場所 【準備学習】教科書第 4 章を読んだ上で		
	ついて自らの考えを 200 字程度でまと		
	第 4 回 教育の理念と目的(2):教育のある		た課題についての考察
	【準備学習】教科書第3章と第11章を記		
	世帯子は7数が音がら手においます。 識を調べておく。(http://www.mext.go		
	第 5 回 人間形成論としての教育人間学:		
	第3回 人間が以端としての教育人間子:	が日りは水、元廷の廷 が	,iエ〞クΓメニニィッル Iエ♥クッ±ガチ

【準備学習】教科書第5章を読んでおく。

	<u> </u>
	第6回 教育思想に見る人間形成(1): ルソー、ペスタロッチの問題意識の理解
	【準備学習】教科書第7章を読み、ルソーとペスタロッチについて基礎知識を調べておく。
	第7回 教育思想に見る人間形成(2):フレーベル、ヘルバルト、デューイの問題意識の理解
	【準備学習】教科書第 7 章と第 8 章を読んだ上で、フレーベル、ヘルバルト、デューイについ
	ての基礎知識を調べておく。
	第8回 現代教育を問い直す教育思想:近代教育批判とその乗り越えの思想史的考察
	【準備学習】教科書第 10 章を読んでおく。
	第9回 公教育としての学校教育:教育の制度・組織の意義についての理解
	【準備学習】教科書第 12 章を読んでおく。
	第 10 回 現代社会と教育のゆくえ:現代教育の課題の考察
	【準備学習】第 11 章と第 15 章を読んでおく。
成績評価方法	・期末試験(60%)、毎回の受講態度およびリアクションペーパーの内容(40%)をふまえ総合的に
	評価する。
	・授業時の学習成果、到達目標に掲げた各項目に関わる期末試験(レポート形式)の成績によ
	り、到達目標を十分満たしたと判断された場合、合格(A+, A, B, C) のいずれかの評価となる。
テキスト	吉田武男監修、滝沢和彦編著,『MINERVA 初めて学ぶ教職 1 教育学原論』ミネ
	ルヴァ書房、2018年。授業時に資料を含むレジュメを配布する。
参考文献	授業時に適宜紹介する。
授業外における	事前学習、事後学習を含め、150分の授業外における学修を要する。
学 習 方 法	毎時間、授業計画に示された準備学習(指定教科書の指定された章を読む等)を
	行った上で、授業に臨むこと。
受講学生に望むこと	・教科書の内容を前提としながら、発展的な内容を授業で講義します。それゆえ、
	シラバスで次回の内容を確認し準備学習を行った上で、授業に臨むこと。
	・自らが教育を受けてきた経験を振り返り、時に他者と共有しながら、教育のある
	べき姿を考えていきます。目的意識と積極性を持って授業に臨んでいただきたい。
備考	旧課程の教育基礎学 II に対応。
	対象学群・学類以外の履修は原則認めない。また、『履修要覧』(I 学修一5 履
	修申請)で履修申請変更について書かれているとおり、「やむを得ない理由があっ
	て、期間内に申請不可能な場合」を除き、追加履修・削除等は基本的には認め
	ないため、履修登録は慎重に行うこと。

	美施方 	法:オンフィ	イン(オンデマンド型)
授 業 科 目 名	現代教育と教育理念(The Ideal and Ti	he Real of E	ducation)
科 目 番 号	9200151 授	業 形態	講義
単 位 数	1 単位 標 準	履修年次	1 年次
実 施 学 期	秋B曜	時 限	集中
対象学群・学類	体育 6~10 クラス対象		
担当教員(連絡先)	平井 悠介		
	火4(授業に関することであれば適宜対応。	授業時に配布	するレジュメに記 載 する
オフィスアワー	メールアドレス宛に連絡し、アポイントを取って	て下さい。)	
授業の到達目標	(1)教育の諸概念と教育の理念・目的につい	ヽての基 礎 的 を	お知識を習得する。
	(2)人間形成をめぐる教育の各分野での議詞	魚が相互にいた	かに関連しているかを説
	明できる。		
	(3)人間の発達の助成としての教育の可能性	生と限 界 につい	て現代社会との関わり
	という観点をふまえて論じられる。		
授 業 の 概 要	子どもが人として生まれ、人間として形成されていく	過程で、大人・教	対育者はどのようなはたらき
	かけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての	の人間の形成に	どのように関わるべきか。こ
	うした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方	法、制度的•組織	戦的原理等に関わる教育の
	基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考	察する。	
授 業 計 画	・授業はオンライン授業(オンデマンド型)で実施する	る。授業動画コン	テンツは manaba の授業コ
	ンテンツ内で閲覧用 URL を示す。		
	・授業時にはmanabaの授業コンテンツを通じて資料	を含むレジュメを	配布するが、教科書も適
	宜使用する。		
	・manabaに付与されている機能responを使用して、領	毎回課題の提出	を求める。課題の提出は、
	授業への出席確認も兼ねる。		
	・教科書の内容を前提としながら、発展的な内容を抗	受業で講義する。	それゆえ、シラバスで次回
	の内容を確認し準備学習を行った上で、授業に臨む	こと。	
	・授業時にはmanabaの授業コンテンツを通じて資料	を含むレジュメを	配布するが、教科書も使
	用する。		
	第1回 教育という問い、その意義について:教育学	を学ぶ意義にて	ついての理解
	【準備学習】教科書の第 1 章と第 14 章を読んで	おく。	
	第2回 教育の概念:教育とは何か、教育の場(家庭	室・学校・社会)に	よる役割の違いの理解
	【準備学習】教科書第 2 章を読み、「教育」という	言葉に対する自	らのイメージを 100 字程度
	でまとめておく。		
	第3回 教育の理念と目的(1):発達の助成/市民の	育成としてのニ	つの教育目的の理解
	【準備学習】教科書第 4 章を読んだ上で、なぜ大	人は子どもを教	育するのか、教育の目的に
	ついて自らの考えを 200 字程度でまとめておく		
	第4回 教育の理念と目的(2):教育のあるべき姿と	その実現に向け	た課題についての考察
	【準備学習】教科書第3章と第11章を読んでおく	く。その上で、学	習指導要領について基礎知
	識を調べておく。(http://www.mext.go.jp/a_mer	nu/shotou/new-	cs/1383986.htm 参照)
	第5回 人間形成論としての教育人間学:教育的関	係、発達の連続	性/非連続性の理解

【準備学習】教科書第5章を読んでおく。

	<u> </u>
	第6回 教育思想に見る人間形成(1): ルソー、ペスタロッチの問題意識の理解
	【準備学習】教科書第7章を読み、ルソーとペスタロッチについて基礎知識を調べておく。
	第7回 教育思想に見る人間形成(2):フレーベル、ヘルバルト、デューイの問題意識の理解
	【準備学習】教科書第 7 章と第 8 章を読んだ上で、フレーベル、ヘルバルト、デューイについ
	ての基礎知識を調べておく。
	第8回 現代教育を問い直す教育思想:近代教育批判とその乗り越えの思想史的考察
	【準備学習】教科書第 10 章を読んでおく。
	第9回 公教育としての学校教育:教育の制度・組織の意義についての理解
	【準備学習】教科書第 12 章を読んでおく。
	第 10 回 現代社会と教育のゆくえ:現代教育の課題の考察
	【準備学習】第 11 章と第 15 章を読んでおく。
成績評価方法	・期末試験(60%)、毎回の受講態度およびリアクションペーパーの内容(40%)をふまえ総合的に
	評価する。
	・授業時の学習成果、到達目標に掲げた各項目に関わる期末試験(レポート形式)の成績によ
	り、到達目標を十分満たしたと判断された場合、合格(A+, A, B, C) のいずれかの評価となる。
テキスト	吉田武男監修、滝沢和彦編著,『MINERVA 初めて学ぶ教職 1 教育学原論』ミネ
	ルヴァ書房、2018年。授業時に資料を含むレジュメを配布する。
参考文献	授業時に適宜紹介する。
授業外における	事前学習、事後学習を含め、150分の授業外における学修を要する。
学 習 方 法	毎時間、授業計画に示された準備学習(指定教科書の指定された章を読む等)を
	行った上で、授業に臨むこと。
受講学生に望むこと	・教科書の内容を前提としながら、発展的な内容を授業で講義します。それゆえ、
	シラバスで次回の内容を確認し準備学習を行った上で、授業に臨むこと。
	・自らが教育を受けてきた経験を振り返り、時に他者と共有しながら、教育のある
	べき姿を考えていきます。目的意識と積極性を持って授業に臨んでいただきたい。
備考	旧課程の教育基礎学 II に対応。
	対象学群・学類以外の履修は原則認めない。また、『履修要覧』(I 学修一5 履
	修申請)で履修申請変更について書かれているとおり、「やむを得ない理由があっ
	て、期間内に申請不可能な場合」を除き、追加履修・削除等は基本的には認め
	ないため、履修登録は慎重に行うこと。